

関東六華会散策の会「忠臣蔵歴史を訪ねて（前編）」のご報告

関東六華会散策の会平成28年度行事として「忠臣蔵歴史を訪ねて」が、11月5日（土）に開催されました。

参加者は15名、9時に皇居大手門に集合し、石堂会長より、「非公式には4回目、正式には昨年の築地界隈散策に続いて2回目となるが、今後共継続していきたい。無事に楽しく歩きましょう」との挨拶を頂きスタートしました。

前回の築地散策と違って専任ガイドを依頼せずに、実行委員の櫻井さんが作成してくれたガイド用資料に基づいて、同実行委員小野寺さん・佐々木両名と駒米副会長の4名で、10月8日（土）に同じコースを下見しました。その日は大雨に見舞われて大変な思いをしましたが、本番当日は、朝方曇りも歩き始めてから秋晴れとなり、散策には最高の天気となりました。

今回のガイドは櫻井さんに事前配布の資料から各見学場所での説明、質疑応答まで行って頂き、小野寺さんは全体のコーディネーター、佐々木が補佐する形で開催しました。江戸城の見事な石垣を見てから松の廊下の位置を確認、天守台を見てから平川門を出る。



忠臣蔵とは関係ないが近場ということで徒歩にて将門首塚に寄ってから、タクシーに分乗して西新橋の浅野内匠頭終焉の地へ。（一関藩田村家屋敷跡）

その後、近くにある新正堂という和菓子屋さん寄って名物「切腹最中」で小休止、大変うまかったです。

新橋から新日本橋まで電車で移動し、大石内蔵助潜



居地へ。（現在は天ぷら屋「てん茂」）

やはり近場という事で伝馬町牢屋敷跡見学、タクシー移動で浅草見附跡を見たあと堀部弥兵衛宅付近？（討ち入り前に全員が立ち寄り杯を交わした所）を回って待望の昼食へ。

老舗蕎麦屋「玉屋」で喉の渴きを潤した後は各自そばを注文（私は討ち入り定食でした）

そこから吉良邸は近いのですが、あえて墨田区循環バスに乗って堀部安兵衛宅跡に行き、そこから討ち入り気分徒歩にて吉良邸に向かいまし



た。吉良邸表門跡で討ち入りの様子の説明を受けて本所松坂公園（吉良邸跡）へ、最後は隣の回向院で解散となりました。

その後有志で懇親会を行い皆さんに感想を聞きましたが、ガイドして下さった櫻井さんに対する謝意と、多くの方に後編（吉良邸から泉岳寺まで）も是非参加したいと言って頂きました。

忠臣蔵なので12月に実施出来れば良いのですが、今年は時間的に無理なので29年度の行事か？ 来年早めに実施して29年度は別のコースを？ 等意見が出ましたが、アルコール抜きの正式な場で検討する事にしました。

コース散策中に同じようなグループに何組か遭遇したのを見て、やはり忠臣蔵人気は衰えてない事を実感しました。

今回櫻井さんがいろいろ資料を用意して下さい、又本職のガイドさん顔負けの説明をして下さったことで、より理解が深まったように思われます。

12月に入って、時代劇などで忠臣蔵が放送された時、より興味をもって観ることが出来るのではないのでしょうか。

歩数計で16000歩の旅でした。皆さんお疲れ様でした。

（記：佐々木 明）



吉良邸表門跡で討入り図をもとに



回向院：何故か鼠小僧のお墓に人気